

TBS グループ環境方針

TBS グループは、「TBS グループ行動憲章」で「自然との共生を大切に考え（中略）、よりよい地球環境の実現に努めます」と誓い、事業上の重要課題（マテリアリティ）に「命息づく地球に最高の“時”を」という項目を設定、「サステナビリティ方針」で「コンテンツ、サービスの提供を通じて、環境・社会課題の解決に取り組みます」と宣して、国際社会が目指す環境保全・負荷低減の一助となることに努めてきました。

「TBS グループ環境方針（以下、本方針）」は、上記環境保全・負荷低減についての TBS グループ（以下、当社グループ）の方針・取り組みを詳述するものであり、当社グループのすべての役職員（役員および職員）に適用します。

また、事業上のすべてのサプライヤーにも本方針の趣旨を周知し、理解していただき、遵守されるよう期待します。

1. 国内外の法令・規範・合意の遵守

当社グループの事業活動すべて（調達・制作・放送・配信・製造・販売・その他サービスの提供）に於いて、環境保全や負荷低減、持続可能な社会実現に向けた国内外の法令・規範・合意を遵守します。

2. 環境保全・負荷低減に関する継続的検証

温室効果ガスの排出、生物多様性の喪失やエネルギーの過剰使用、無秩序な廃棄に加え、「環境基本法」が規定する大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下及び悪臭などを「環境に対する負荷」と捉え、すべての事業活動を通じてこれら環境負荷が生じていないかを継続的に検証し、低減に努めます。

3. 適切な環境目標の設定と進捗の開示

環境保全・負荷低減について事業上の目標を適切に設定し、継続的な改善を図ります。また、目標達成までの進捗状況について透明性のある報告を行います。

4. コンテンツ・サービスを通じたサステナブル社会実現への貢献

世界規模でのコンテンツ発信・サービス提供という当社グループの事業特性を活かし、環境保全・負荷低減について情報提供や啓発を進めて「社会を動かす起点となる」ことを目指し、以てサステナブルな社会の実現に貢献します。

5. 役職員への周知・啓発

本方針を当社グループ全役職員に周知するとともに、環境に配慮した事業活動推進のための教育・意識向上を推進します。

2025年4月7日策定

株式会社 TBS ホールディングス
代表取締役社長
阿部 龍二郎